



教育長 山本 真也

28年度の教育行政執行にあたり、函館市教育委員会として2つの重点目標を掲げ、取り組みを進めてまいります。

豊かな人生を支援する 生涯学習の充実

さまざまな学習情報を提供し、市民の学習活動を支援する「まなびつと広場」や高齢者が楽しみながら知識・教養を身につけ、仲間づくりを通して生きがいのある生活を実現できる学習の場の拡充を図るなど、市民の生涯学習活動を支援します。

文化芸術の振興については、「文化芸術アウトリーチ事業」を実施するとともに、「はこだてカルチャーナイト」や「はこだて国際民俗芸術祭」など、市民の自主的・創造的な文化活動を支援します。

文化財については、特別史跡五稜郭跡の堀の石垣全体に係る診断調査を実施するほか重要文化財旧函館区公会堂の耐震補強を含む大規模保存修

理に向けた保存活用計画および基本計画を策定します。

また、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて、関係自治体や地元関係団体と連携した取り組みを一層進めるとともに、史跡垣ノ島遺跡の整備に向けた基本設計等を行います。

開館50年を迎える博物館においては、開館以来、半世紀にわたり収集された貴重なコレクションを一堂に展示し、日本の博物館の発展に寄与した函館の役割を紹介する企画展を開催するほか、引き続き「デジタルアーカイブ事業」に取り組みます。

スポーツ振興については、「函館アリーナ」や「函館フットボールパーク」などの既存施設を効果的に活用し、各種競技力の向上や生涯スポーツの振興に努めるほか、函館フットボールパークに設置しているクレーサッカーグラウンドの天然芝生化による競技環境の向上を図るなど、さらなる施設整備に取り組み、スポーツ合宿や大会の誘致をより一層推し進めます。

また、各種スポーツ団体と連携を図り、各種競技大会や野球、サッカーなどのプロス

ポーツ公式戦を開催するとともに、6月に初開催となるフルマラソン大会に向けて、引き続き関係団体と連携を深め、大会の成功を目指します。

子どもの「生きる力」を 育む学校教育の推進

信頼される学校づくりについで、安定した学校運営を図るとともに、活力ある学校づくりを進めるため、学校経営を支援する学校教育指導監を配置します。

また、28年度に開校する五稜郭中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、地域住民と協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える仕組みづくりを進めます。

さらに、特別支援教育支援員や小学校外国語活動サポート員に加え、新たに中学校の部活動指導員など、地域人材を積極的に活用します。

学力向上については、アフタースクールを拡充するとともに、主体的・協働的な学習である「アクティブ・ラーニング」の実践に向けた取り組みを推進します。

また、ICT機器を活用した授業を推進するとともに、中学校における免許外指導の解消を図る学力向上非常勤講師を配置します。

豊かな心の育成については規範意識や自尊感情、他者へ

の思いやり、生命を尊重する心などを養うことができるよう道徳教育の充実を図ります。

いじめ問題については、市民ぐるみで機運を高めるほか、家庭、地域、関係機関と連携し、いじめの未然防止、早期発見および迅速な対応を組織的に行います。

また、学級活動や児童・生徒会活動の充実を通して、望ましい人間関係を育む力を高め、いじめの未然防止に努めるとともに、学校の教育相談体制の充実を図ります。

健全な体の育成については、基本的な生活習慣を定着させるため、PTA活動などと連携した取り組みを進めるとともに、日常的な運動習慣の形成に努めます。

南北海道教育センターにおいては、今日的教育課題に対応した研修を実施するほか、研究員による実践的な教育研究を推進します。

特別支援教育については、特別支援教育巡回指導員や特別支援教育支援員を活用するほか、教育支援委員会の機能を充実するとともに、特別支援教育のリーダー教員を育成し、市全体の特別支援教育体制の充実を図ります。

さらに、発達に関する問題や不登校など、多様な実態に応じた教育相談を充実するとともに、適応指導教室等にお

ける基礎学力の補充や情緒の安定を図る支援に努めます。

学校給食については、より安全で安心な給食を提供するとともに函館産農水産物の使用の一層の拡充を図ります。また、学校給食の安心安全を確保するため、学校における食物アレルギー事故防止の徹底を図ります。

子どもの安全確保については、より一層登下校の安全確保に努めるとともに、地域社会、家庭との連携を図った学校安全を推進します。

国際理解教育については、中学生海外派遣事業を拡充するほか、市立函館高校をはじめ市内高校生の留学生派遣事業を実施します。

小・中学校の再編については、「函館市立小・中学校再編計画」に基づいた最初の統合校である五稜郭中学校を本年4月に開校します。

また、具体的な再編案を一括提示し、早期の再編実現を目指してまいります。

市立函館高校については、30年度にスタートする教育課程の編成に努めるとともに、今後の学校運営のあり方について検討を進めます。

学校施設については、30年4月に統合校として開校する現在の場中学校の建て替えや現在の潮見中学校の改修を進めます。